

シラバス (介護職員基礎研修)

指定番号 _____ 課程 介護職員基礎研修課程
 法人・団体名 株式会社 松島紙店
 課程編成責任者 小又幸成

研修区分 標準型(500時間) 実習免除型(300時間) 科目免除型(I)(200時間) 科目実習免除型(I)(60時間)
 科目免除型(II)(350時間) 科目実習免除型(II)(150時間) 演習及び実習(実習事業者のみ)

科目番号・科目名	(8) 介護における社会福祉援助技術			
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・介護において求められるソーシャルワークについて、理念を理解し実践的援助技術を習得する。 ・地域を含めた生活環境づくりの視点と方法を理解する。 ・困難事例等への対応において、どのような役割を果たすべきかを学ぶ。 ・利用者家族とのコミュニケーション技術、家族支援の具体的方法を学ぶ。 			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学 時間数	うち 通信 時間数	目標・講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① ソーシャルワークの基礎的理解	6	6	0	《目標》介護におけるソーシャルワークの重要性と介護職員として持つべき視点について説明できる。 「バイスティックの7原則」について概説できる。 《講義内容》 ・ケースワーク ・グループワーク ・コミュニティーワーク
② 相談援助とケアワークの基礎実践技術の習得	6	6	0	《目標》利用者・家族のニーズを把握し、社会資源に適切につなげるために、チームの中で提案することができる。家族が抱きやすい心理や葛藤について概説でき、それに応じた適切なコミュニケーションや働きかけについて、事例に基づいて説明できる。 《講義内容》 ・相談援助とは ・家族支援
③ チームケアとケアワーク	6	6	0	《目標》チームの一員として社会資源との連携・活用しつつ利用者・家族に対して働きかけや関わりを持つことができる。 《講義内容》 ・チームケア ・連携とチームケア ・チームケアを実践するために
④ 地域に根ざした包括的ケアの基礎的理解	6	6	0	《目標》利用者の生活の場(施設・居宅)に応じて利用者の生活空間を地域に広げるための具体的な利用者の立場を設定して、様々な角度からその対応方法について説明できる。 《講義内容》 ・コミュニティーワークの展開 ・近隣への依頼と連携 ・地域生活支援 ・社会福祉制度における地域包括支援と地域生活支援【今後の課題】
⑤ 困難事例への対応に関する事例を通じた理解・虐待防止、消費者被害、権利擁護への対応	12	12	0	《目標》困難事例において、具体的な利用者や場面を設定して様々な角度からその対応方法について説明できる。 虐待、消費者被害等が疑われる典型的な兆候・場面などについて説明できるとともに虐待、消費者被害等が疑われる場合の原則的な対応の考え方を説明できる。 《講義内容》 ・サービス拒否するクライアントへの働きかけ ・無力に陥っているクライアントへの働きかけ
修了評価				
(合計時間数)	36	36		

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
 ※ いくつかの項目をまとめて、時間数を設定しても差し支えない。
 ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙4に定める時間以内とすること。
 ※ 通信学習を実施する項目については、通信学習課題を提示すること。(既に提示したものを除く。)